

具体的な地域振興策を

示すことが必要

町議会と様々な角度から

意見交換を行いたい



宮 蘭 博 香 議員



成田空港の更なる機能強化については、町の将来に大きく関わる問題であり、ここで進め方を

誤ったり迅速な対応を行わなかった場合は、町の明るい未来が訪れることは無いと言っても過言ではあり

なるものを設置し対応する必要があると思います。そして一番大切なことは、町長の考え方を早急に示すこ

ことなどが必要だと思います。それらを踏まえ、①住民アンケートの集計結果は、いつ頃公表できるのか。②

説明会の意見やアンケートの回答は大変貴重なものである。その上で、町議会と様々な角度から「成田空港の更なる機能強化」に関する当



ません。ここを絶好のチャンスと捉え、今後の町づくりを進める必要があります。そこで、

国・千葉県・成田国際空港株式会社（NAA）等に町の空港対策に係る強い姿勢を示すのであれば、現在の空

港・地域振興室を企画財政課と切り離し、単独室とするか、空港対策課

国・千葉県・NAAと今後の町づくりを最優先とした会議を開催し、「成田国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律」（財特法）に基づ



く、「成田国際空港周辺地域整備計画」に具体的な地域振興策を示して頂くことや空港圏の一部として、国家戦略特区に指定して頂く

ことなどが必要だと思います。それらを踏まえ、①住民アンケートの集計結果は、いつ頃公表できるのか。②

説明会の意見やアンケートの回答は大変貴重なものである。その上で、町議会と様々な角度から「成田空港の更なる機能強化」に関する当

町としての方向性について意見交換を行いたい。④今のところ未定。⑤当町は成田空港の近接にありながら、そのポテンシャルが十分に生かされてこなかったところもあることから、機能強化策が合意された場合は、最大限、空港の持つ可能性や活力を利用して頂くことが必要であると考えている。



① 来年1月中旬頃を見込んでいます。② 夜間飛行制限の緩和について、

開港当初からの約束であることや安眠確保による健康維持の観点などから、反対する意見が多かったと感じている。一方で、説明会終了後に自分は反対でない旨申し出る方、空港が近くにあることの利便性を訴える方など多岐にわたる。改めて、様々な意見があると思った。③



森 川 忠 議員

成田空港第三滑走路問題

住民説明会と全戸アンケートの結果集計を十分に尊重する

Q 成田空港第三滑走路問題について、全戸アンケートの返信率と問い合わせ件数と内容はどうか。

A

返信率は約40%、問い合わせ件数は数件だが、「アンケート内容が機能強化ありきではないか」「機能強化案について賛否をはっきり示すようにすべきだ」「図面が良くわからない」などがあつた。

Q アンケートに賛否を問う設問等がなかったが

A

騒音を含め成田空港が存在することに対する認識、機能強化案に対する認識、今後の町と成田空港との関係性、町の将来のあるべき姿などについて問うてみたいと考えており、もともと住民投票的に賛否を直接問うことは考えていなかった。

つた。アンケート・結果集計は1月中旬頃になり、貴重なものであるため十分に尊重していく。

Q 住民説明会の参加人数や主な質問・意見は。

A

説明会は、10月29日から明日12月2日まで13回行うが、いままで行った12回で計495人という多くの方が出席した。発言のあつた意見は総じて今回の見直し案に対して厳しいものであり、昨年同様、特に夜間飛行制限の緩和について、開港当初からの約束であることや安眠確保による健康維持の観点などから、反対する意見が強かったと感じている。その他には、騒特法と騒防法の線引きによる集落分断を懸念する意見、防音工事の不十分さを指摘する意見、騒音区域に入ることで固定資産価値の下落を心配する意見、空港南側の地域づくりをしつかりと進めてほしいとの要望などが出された。

Q 町内道路・交差点危険個所の認識は。

A

「特に交差点で危険と思われる箇所があると思うが。」についてで

すが、国道では、国道126号と町道I-22号線（スクールライン）の交差点は、交通量も多く、町道I-22号線から国道126号へ右折するための右折信号が設置されていないため、インターチェンジ方面からの直進車両により通行が妨げられ、JR総武本線踏切を超えて車列が伸び、踏切事故を誘発しかねない状況となっており、危険な交差点であると認識しています。

次に、国道126号と県道横芝上堺線の交差する山崎医院北側の本町交差点は、右折レーンが設置されていないため、右折待ちしている車両の脇をよけるようにして直進する車両が見受けられ、右折車が複数台いるとさらに、対向車線の右折車と直進車両が接触する危

険性が増し、近年は大きな事故はないものの、危険性のある交差点であると認識しています。

次に、県道の危険交差点としては、県道横芝停車場白浜線と県道飯岡片貝線の白浜小学校北側の交差点が、交差点内で一車線分ほどの車線のずれがあり、また歩道や歩行者が信号待ちするための人たまりがなく、危険性のある交差点であると認識しています。町道でも3箇所の交差点について危険性があると認識していて、道路改良事業と併せて順次整備を進めていきます。国道・県道等に関しては、道路構造上の改善は山武土木事務所、信号機などの規制については山武警察署へ要望をしています。



町民アンケート

住民説明会を終えて

議会と相談

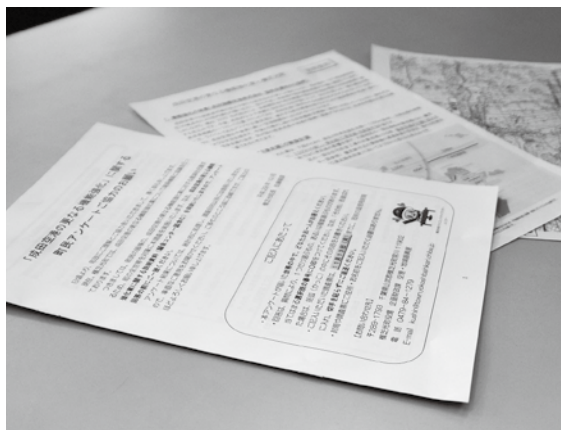
再度町民に丁寧の説明

Q 町民アンケート内容はどの様な話し合いの中で設定したのか？ 地域振興策等も併せて提示されてから行うという答弁を3月議会で頂いているが。

A このアンケートについては、「成田空港の更なる機能強化」が当町の将来にとって大きな問題であることから、町民の認識の程度を確認し、町民の皆さんの考えを広く聞く機会とするために行ったものです。そのため、普段はあまり把握する機会のない成田空港に対する現状認識や機能強化案への認識、町の将来像等をお聞きできるよう、設問内容を検討しました。

検討に当たっては、委託先業者から技術的なアドバイスを受けながら、何度となく執行部内で議論しながら作り上げたものであります。本来であればご質問の通り、メリットについてもはっきりと見出した中の説明会を考えておりますが、国、県の方からなるべく早い説明会を開いて欲しいという旨のお話を頂いている中で、説明会については今年の6月12日の四者協議会で、今回の案について説明をする事について同意をいたしました。

説明会と並行して行いたいと考えておりました。住民説明会と並行して行いたいと考えておりました。住民説明会と並行して行いたいと考えておりました。



Q アンケートの提出期限は、どの様に決めたのか。

A アンケートについては、できるだけ住民説明会と並行して行いたいと考えておりました。住民説明会と並行して行いたいと考えておりました。



秋 鹿 幹 夫 議員

説明会でのご意見やアンケート結果を主な素材として、町議会と様々な角度から意見交換を行いたいと考えていましたので、住民説明会終了とアンケートの結果報告にあまり時間的なズレを生じさせないことが必要であり、そのようなことも考慮して提出時期を決めたところであります。

Q 11月13日が期限だと、住民説明会で第7回目の栗山地区までしか説明がなされていない状況で、何故この期限としたのか。

A 住民説明会とアンケートの集計結果をもつて、議会の皆さんと相談したいと言う事で、この様にしました。

にしました。尚、アンケートの設問自体も難しい物ではありませんし、説明会を聞かなくても回答は頂けるものと考えております。

Q 住民説明会を終えての町長のご所見を伺います。今回の住民説明会の見直し案も、四者協議会で町長ご自身が確認されてから説明会に至っていると言う事でよろしいでしょうか。

A 内容についての把握はしておりますが、現実最終日13回目の説明会を終えてみると、このままですなりこれで進める状況ではないと考えております。今後の振興策も含め、再度議会と相談しながら空港会社、県に対して要望を出して行かなければならない状況に今あると認識をしている中で、もう一度町民の皆様には丁寧な説明をして行かなければならない。そういう認識をもっております。



山崎 義貞 議員

学校給食費無料化は

無料化は考えていない

Q 全国83自治体に広がっている学校給食費完全無料化は千葉県では大多喜町（中学校）、神崎町（小・中学校）で始まりまし

た。給食費の完全無料化についてはどのように考えるのか。

A 学校給食法の規定に基づき、各家庭には給食費の負担をお願いしています。

仮に当町が小・中学校を対象に無料化を実施した場合を試算すると、約8千万円の経常的な財源確保が必要で、町の財政状況では非常に厳しいものと考えざるを得ません。学校給食費の無料化は、保護者の教育費負担の軽減に有効であると思います。が、当町での無料化の実施は容易ではないと考えます。

Q 児童、生徒の通学路の安全確保

には最善の対策を講じなければならぬ。防犯対策も含めた通学路の安全対策整備の箇所数は。

A 各種安全対策が必要箇所は、町内各所にあるため数の把握はしていません。安全推進会議を中心として、関係機関と

連携しながら順次改善し、通学路の安全確保を図りたいと考えます。役場南側道路、西方向の元椎名文具店前の通学路確保について、現況の北側に大型の排水路があり、転落防止柵も設置してありますが、カーブ区間もあり整備済みの役場前と比べると幅員も狭小と認識しています。子供たちの通学の安全を確保するためには、なんらかの対策が必要と考えます。今後、管理者の大利根土地改良区と協議しながら対策について検討したい。

Q 成田空港機能強化に対する住民説明会で住民の声は、騒音被害は健康被害にもつながる、町の人口現減少に拍車をかける、町の衰退につながる、と切実な訴えでした。この住民の声をどのように受け止め表明するのか。

A 住民の声の受け止め方は、住民説明会や住民アンケートで頂いたご意見・回答等は貴重なものである、十分に尊重しなければならぬと思っています。その上で、アンケート



Q 台風21号による倒木で起きた停電、ライプラインの被害状況は。

ト集計・分析結果を報告できる時期に、町議会と様々な角度から「成田空港の更なる機能強化」に関する当町としての方向性について意見交換を行いたいと考えています。

Q 台風21号による施設被害と、路地野菜の被害状況は。

A 千葉県全体で農作物被害額30億9650万円、園芸施設等被害が3億3849万円となっています。当町においても、農作物被害として秋冬ネギを中心に約725万円、園芸施設等が約203万円と試算し県に報告しています。

Q 台風21号による倒木で起きた停電、ライプラインの被害状況は。

A 人的被害はありませんが、一部で停電が発生し東電に確認したところ倒木による電線の切断で、町内で1000軒を超える停電が発生したと伺っています。

Q 台風21号による倒木で起きた停電、ライプラインの被害状況は。

A 人的被害はありませんが、一部で停電が発生し東電に確認したところ倒木による電線の切断で、町内で1000軒を超える停電が発生したと伺っています。

持続可能な開発目標

(SDGs)の推進に伴う取り組みは

当町においても取り組んでいる



川島 富士子 議員

Q

持続可能な開発目標
(SDGs)の推進

に伴う取り組みは

A

SDGsとは、平成27年9月の国連総会において全会一致で採択された、貧困の解消や環境保全、格差の是正など17の目標と169の具体的目標から構成される世界共通の行動目標です。この目標の中には、経済成長と雇用・クリーンエネルギー・循環型社会・温暖化対策・女性の活躍・児童虐待の撲滅などがあり、これらを実現するため平成28年5月に安倍首相を本部長とするSDGs推進本部が設置され、関係

Q

道路の空洞調査の実施を

A

道路パトロールは行っているものの、現在まで町道及び法定外道路での空洞調査は実施していません。道路の陥没を未然に防止するため、空洞調査は有効な手段であると思われませんが、多大な費用を要すること並びに当町における道路の空洞化は、農地内の道路の横断部や道路の路肩部での発生が主であることから、当面は日常の道路パトロールを強化して対応し、将来的には幹線道路を中心に、空洞調査の実施について検討してまいります。

Q

図書館への書籍消毒機の導入を

A

町図書館を利用される方に、本の衛生面での不安感を取り除くことへの配慮が必要であると認識しております。現在、本にブックカバーをかけ保護しており、返却された本の汚れなどの確認を行い、手作業で処理し書架に戻しておりますが、今後、書籍消毒機の情報収集を行い、その性能や費用対効果等について調査し、導入について検討してまいります。

※その他の質問

・2020東京五輪に向け

た横芝光町の取り組みについて

・成田空港問題について

①どうしたら人口減少せず、皆が住んでもいいと考えられるか

②子や孫の代に、どのような形でこの町を残そうと考えるか

・高齢者に優しいまちづくりにについて

①ごみ出し支援について

②ふれあいサロンの整備について

・横芝駅エレベーター設置の進捗状況について

・フタバ保育園付近の横断歩道設置の進捗状況について

